

景子の神奈川行脚

【1月】

- 6日 仕事始め、事務所作業
- 7日 茅ヶ崎駅朝立ち、商工会議所新年会、あいさつまわり
- 8日 おひさま保育、市民相談、総合計画審議会、神教組新年会
- 9日 あいさつまわり
- 10日 出初式、柳島自治会新年会、鶴が台団地新年会、労働党新年会
- 11日 高南駅伝開会式、成人のつどい
- 12日 議会運営委員会、県賀詞交換会、アメリカ視察打ち合わせ
- 13日 茅ヶ崎駅朝立ち、県政ニュース印刷、ドットジェイピー面接、県トラック協会新年会
- 14日 地域連合あいさつ、スタッフミーティング
- 15日 おひさま保育、県政ニュース配布、あいさつまわり
- 16日 青年会議所新年会、あべともこ新年会
- 17日 「プライドインブルー」映画会、県政ニュース配布
- 18日 おひさま保育、WEショップ会議、歌声喫茶、献血運動、市との懇談会
- 19日 民間保育園協会新年会、シニアクラブ料理を楽しむ会
- 20日 茅ヶ崎駅朝立ち、あいさつまわり、病院協会新年会、湘南教組旗開き、建設業新年会
- 21日 武道始め式、警察賀詞交歓会、保険医協会新年会
- 22日 あいさつまわり、岸正明新年会、古式消防新年会
- 23日 海岸地区新年会、映画会、薬剤師会新年会
- 24日 松の実会新年会、議員検定試験
- 25日 茅ヶ崎駅朝立ち
- 26日 おひさま保育、あいさつまわり
- 27日 茅ヶ崎駅朝立ち、日中友好協会新年会
- 28日 事務所作業
- 29～31日 アメリカの福祉施設視察

【2月】

- 1日～3日 アメリカの福祉施設視察
- 4日 おひさま保育、県政ニュース配布、ライオンズクラブ新年会
- 5日 おひさま保育、WEショップ10周年実行委員会、街宣活動、神奈川議員懇談会
- 6日 スモークフリーフォーラム、革新懇総会
- 8日 議会運営委員会、予算説明会、国民連合世話人会
- 9日 あいさつまわり、市民相談、スタッフミーティング
- 10日 茅ヶ崎駅朝立ち、民主党幹事会、平本県議感謝のつどい
- 11日 梅まつり、くさか景子新春のつどい、選対会議
- 12日 おひさま保育、WEショップ10周年実行委員会
- 13日 WE運営委員会、勝又新春のつどい
- 15日 議会運営委員会、本会議、議案説明、斉藤つよし新春のつどい
- 16日 議案説明
- 17日 茅ヶ崎駅朝立ち、本会議
- 18日 本会議、スラムドッグミリオネア映画会
- 19日 おひさま保育、本会議
- 20日 河津桜まつり(小出川)、ライオンズクラブ新人研修会、アメリカ視察反省会
- 21日 学童協議会との懇談、勝又新春のつどい
- 22日 おひさま保育、あいさつまわり、薬剤師会120周年記念会
- 23日 議会運営委員会、本会議
- 24日 議会運営委員会、本会議、医療懇談会打ち合わせ
- 25日 議会運営委員会、本会議、市議との懇談
- 26日 防災について学ぶ会(味の素川崎工場見学)
- 27日 海老名インター開通式
- 28日 鶴嶺公民館まつり、薬物乱用防止学習会

【3月】

- 1日 厚生常任委員会
- 2日 北陵高校卒業式、市調査、つばさの家訪問、あいさつまわり
- 3日 厚生常任委員会
- 4日 茅ヶ崎駅朝立ち、フランス視察打ち合わせ、野口宇宙飛行士イベント
- 5日 厚生常任委員会、「ハンセン病療養所に生きて」朗読劇
- 6日 民主党面接、野中広務講演会、ライオンズクラブ盟友のつどい
- 7日 スポーツ人のつどい、WE講座
- 8日 おひさま保育、市民相談、スタッフミーティング、女性議員の会
- 9日 海老名医師会会長葉梨先生ヒアリング
- 10日 茅ヶ崎駅朝立ち、行谷小出川調査、予算委員会傍聴
- 11日 受動喫煙防止協力店知事訪問同行、医療問題懇談会打ち合わせ
- 12日 茅ヶ崎養護学校卒業式、あいさつまわり
- 13日 サボセンまつり、不安定雇用ネットワーク総会
- 14日 民主党打ち合わせ
- 15日 おひさま保育、行谷小出川相談
- 17日 厚生常任委員会
- 18日 おひさま保育海遠足、商工会議所式典、市民相談
- 19日 議会運営委員会、本会議
- 20日 訪朝団打ち合わせ、民主党定期大会
- 23日 議会運営委員会
- 24日 本会議
- 25日 おひさま保育、EV車試乗、医療問題懇談会打ち合わせ
- 26日 市営プールオープン式典、ドットジェイピー打ち合わせ
- 27日 中海岸太鼓の会5周年式典、サッカー協会式典
- 28～31日 北朝鮮視察



くさか景子の新春の集い



スモークフリーフォーラム



議員力検定試験 2級合格



味の素工場見学

上映会マイケル・ムーア監督最新作

映画「キャピタリズム」マネーは踊る

日時 2010年5月30日(日)
18:00受付 18:30開演

会場 茅ヶ崎市民文化会館 小ホール

定員 400人

参加費 500円(事前申込み制)

申し込み先 くさか景子事務所

FAX・E-mail・TELでお申し込みください

TEL&FAX 0467-58-0290

E-mail future@grace.ocn.ne.jp

くさか景子のバスツアー特別企画

くさか景子と国会へ行こう

日時 2010年6月16日(水)

見学場所 国会議事堂・靖国神社
 昼食は、衆議院議員会館食堂で、国会議員の方々との交流会。

行程 8:30 茅ヶ崎発→10:00 国会議事堂
 見学・国会傍聴 12:00 昼食・勝又恒一郎衆議院議員ほか国会議員との交流 14:00 靖国神社見学(昇殿・遊就館・靖国偕行文庫)

18:00 頃茅ヶ崎着

集合時間 午前 8:00

集合場所 茅ヶ崎市役所分庁舎と
 茅ヶ崎市民文化会館の間の道路

募集人員 50名(定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 2,500円(昼食代、遊就館チケット代、保険料)当日お支払いをお願いします。



※申し込み方法 FAX・e-Mail・TELで上記のくさか景子事務所までお申し込みください。





神奈川県議会議員

くさか景子と未来をつくる会

県政報告 Vol.13 2010年3月



発行責任者 神奈川県議会議員 くさか景子
連絡先 くさか景子事務所

〒253-0043 茅ヶ崎市元町 3-17 村田ビル 202

Tel&Fax 0467 (58) 0290 e-mail future@grace.ocn.ne.jp

http://www3.ocn.ne.jp/~children/

くさか景子のハチドリのひとつく

3月県議会報告

2月15日～3月24日

平成22年度予算決まる

一般会計	1兆7582億円(1.9%増)
特別会計	8685億円(5.2%減)
企業会計	1024億円(36.3%減)
総額	2兆7292億円(2.6%減)

過去最大規模となり、厳しい財政状況となりました。

海水浴場 今年から分煙

受動喫煙防止条例に引き続き、たばこ関係の条例です。昨年から県内市町や海水浴場組合などと話し合いを行い、決められた場所を除いて海水浴場は、喫煙禁止となるものです。しかし、厚生常任委員会では、灰皿の設置や吸殻ごみの処理方法などの課題があるとして、夏までに課題解決に努力すること、という条件

平成22年度は、5年ぶりに1兆円を下回る県税収入に基づく予算編成となり、不足財源を過去最大規模となる2800億円の臨時対策債の発行に頼らざるを得ず、県債依存度も19.5%と

先進的！遺伝子組換え防止条例決まる

遺伝子組換え作物交雑等防止条例は、長年、食育・食の安全推進特別委員会で議論された食の安全・安心の確保の取り組みに係る事案のひとつです。他県などでは、指針などにとどまっております。神奈川県はこの条例は画期的な条例といえます。今後、遺伝子組換え作物と一般作物との交雑、混入を未然に防ぎ、生産及び流通の混乱を防止するため、この条例が生かされることを望みます。

継続だったボランティア団体等との協働条例 可決

NPOや市民団体などの活動が重要視されている中、県との協働事業の推進や活動の支援策などを盛り込んでいます。目玉は、団体等が行う活動に関する税制度の整備をうたったことです。常任委員会では市民税制度の優遇などはまだ課題があるとして、税制度等を入れて団体の活動の全体的な環境整備を行うとし

ました。この条例で、団体の活動が促進されることを望みます。



会派を組んでいた
松尾鎌倉市長と



くさか景子のほっとコラム

県議会改革すすむ！
不適正経理再発防止の特別委員会設置も

今議会から、本会議の代表質問や一般質問に分割質問形式を取り入れ、今まで一括して質問、答弁を受けていたのが、一項目ずつ分けて特別質問席で行い、再質問を活発化するなど県民にわかりやすい県議会になり、傍聴者にも好評となっています。

深刻な県の財源不足のため、県議報酬を5%初めて削減し、約5840万円の歳出削減につなげました。その他、議員期末手当の削減、議長副議長の交際費の減額、国外派遣の原則休止などで、合計で議会費1.8億円の削減をしました。また、県政最大の不祥事といわれている不適正経理問題は、合計1724人の職員が責任を問われる事態となりました。議会では、特別委員会を設置し、原因究明と再発防止策を検討することになりました。



アメリカ視察 ロサンゼルス

「看護の傘」 Keiro ホーム

1月29日から2月3日まで、和田市議会議員の案内で、ロサンゼルス市の敬老ホームを訪問しました。アメリカ社会では一般的に、日本のように、年離れた両親を子どもが同居して介護することはありません。ほとんどの高齢者は、施設やグループホームに入り、在宅介護は民間会社が担っています。

私が訪れた「Keiro」は、日系のホームです。その他、中国系、韓国系、メキシコ系など人種によって分かれています。

「Keiro」は、今から35年前1975年、日系2世の人たちが、日系1世やいわゆる戦争花嫁といわれた孤独な親たちのために建てたホームです。



Keiro ホーム施設長と和田市議会議員と和す。

老いた人たちのために、今では、引退者ホーム、日本の特養ホーム、ケアつきホーム、中間看護施設、セミナーなどを行う教育機関など大規模な施設となり、

日本からも皇室や有名人が多く慰問に訪れています。待機者も多いと聞きます。75%が女性という、その終の棲家には、工房もあり、みんなで焼いたという「ぼっくり地蔵」に、切なさを感じました。

(NPO) SEEK 自閉症児への教育システムと家庭への支援

きれいな白い家の中では、セラピストやマネージャーが忙しく、個別プログラムを作成していました。アメリカでは、自閉症の人たちの問題行動をトレーニングして、社会適応を図る ABA(行動療法)が主流で行われています。それは、幼児のうちから、週20〜30時間の繰り返し訓練でよくなるというものです。

日本では、この療法はあまり受け入れられておらず、日本とアメリカの文化の違いを感じました。この療法の効果は非常に評価されていますが、私は、自閉症の人たちが本来持っている個性を失くしてしまい、本当に幸せなのかなという危惧を若干感じました。

夜には、自閉症児を持つ日系の親の会の人たちとの懇談会に出席、その親御さんたちにすごいパワーをもらいました。障がい者の生きる権利とそのサポートを国がするのが当然と関係機関に働きかけ、いろいろの支援を勝ち取ってきたことです。

アメリカのカリフォルニアでは、1966年に州政府との契約の下、リージョンナル・センターが発足し、障がいをもつ人々すべてに年齢にかかわらずサービスを提供しています。運営は、障がい者や家族、セラ

ピストや地域のリーダーたちで、医療サービスを提供するクリニックではなく、カウンセリングだけでなく、単なる経済的援助機関でもありません。障がい者の必要とするサービスの提供や計画をコーディネートする機関です。

アメリカに行くと、障がい者の権利が充分守られている素晴らしいことに、感動する反面、日本の障がい者施策の遅れを感じました。



SEEK 研修会

傍聴記

本会議、厚生常任委員会と予算委員会を傍聴してきた。

本会議は、ほとんどが、自民党、民主党的議員による質疑であった。個人的に興味を引かれた質問は、私学振興についての質問である。神奈川県との雇用情勢は、他県と比較すると悪化が著しい。県内の生徒、学生の教育強化が必要である。そのためには私学振興が効果的であると考える。私学「振興」、「助成」への県の貢献を期待したい。

厚生委員会では、県庁組織の改編に

関する質問が非常に長く、印象に残った。改編により、たばこ対策室が、たばこ対策課になる。たばこ対策に課を置くのは、おかしい。県には他にも課題がある。そのとおりだが、同じ課題に関する質問を何時間にもわたって行うのはいただけない。事実、質問の後半は退屈であった。

日下議員も厚生委員会でも質問した。内容は、住居や雇用を失った人に対する支援に関してなどである。少数会派は質問時間が短いという暗黙のルールがある。そのため、日下議員の質問時間も短かった。一人の委員としては時間が短く、簡潔に質問しなければならなかったため、大変そうに感じた。委員一人当たりの格差を是正する必要があるように感じる。

議員インタビュー 箕島 淳一



ホームレス自立支援ビッグイシューの販売員と



神奈川県議会は本会議と委員会(8つの常任委員会と4つの特別委員会)で構成されており、くさか景子は厚生常任委員会に所属しています。

厚生常任委員会 3月5日

くさか景子質問 抜粋

年末の失業者へのワンストップ サービスの効果は?

先議会に引き続き、全国のハローワークで12月21日に行われたワンストップサービスの成果を質問しました。生活保護になる前の新しいサービスとしての支援として、住宅支援、入居支援、生活資金の貸付、就職支援など各人にあったメニューを提示し、年末を乗り切ってもらったということですが、実際は、住宅手当を支給するにも銀行口座がなくてはだめだったり、生活保護申請に一人でいくと取り合ってくれないなどの苦情も聞いています。ほんとうの意味でのセーフティネットの確立を要求しました。

県のホームレス対策は?

県内に1804人いるといわれているホームレスへの施策として、総合相談や巡回相談事業があるが、県として、ホームレス自立支援の方針や今後の対策はどう考えるか質問しました。NPOの力を借りて、無料定額宿泊施設など案内したり、健康相談など市町村とも連携していくとのことでした。少なくとも、

遅れている待機児童対策

県内の待機児童数は⁶⁵⁴⁴人といわれ、深刻な状況です。県としては、低年齢用に分園整備の費用や幼稚園の活用などに提案していますが、実効性のないやり方では解消できないと質問しました。多様な働き方を支える認可外保育園への支援や、東京が認証保育所に予算をかけた機児童解消に努力しているように、県の認定保育施設へのさらなる支援、事業所内保育所をもっと推進するなどの強化策が求められます。

高齢者施設整備は足りるのか?

新年度予算で、特養ホームと老健施設15施設が新設されるのは、待機者2万2千865人の解消になるのか? また、整備費の15%カットで設置者に負担が大きいわれられているがどうか? と質問しました。実質すぐ入りたい⁵³⁰⁰人のうち、横浜・川崎以外の県域では1700人のうち828人約半分は整備され、建設費のカットも建設単価が下がり、コストを落とすことでなんとかしてもらいたいとの答弁。一番遅れている湘南東部圏域では、茅ヶ崎市が整備ゼロなので問題

です。茅ヶ崎市の積極的な取り組みを望みます。

朝鮮民主主義人民共和国 訪問記!

3月28日〜4月3日まで、私は、日朝国交正常化を目指す神奈川県民の会の一員として、朝鮮を訪れました。国交がないため直行できず、北京に渡り、大使館でビザを取るのに1時間まち、やっと平壤入り。長い道のりでした。

朝鮮は、思ったより近代的な高い建物が多のですが、エネルギーが少ないので街中は暗く、すべてが国営の社会主義のため、商業ネオンも看板もないので、こざっぱりときれいでした。

人々は一昔前の日本人の服装。信号はなく、交通整理の若い女性がお人形のように美しく指揮していました。一日8時間労働、金曜日は勤労奉仕の日、土曜日は学習の日、日曜日が休みと規則正しい生活です。

すべてが金日成主席と金正日総書記の指導のもと、国営で、住宅、教育、医療は無料、犯罪や自殺もないそうです。人々は、国の発展を願うという国民性で、皆、歌やダンス、映画や観劇を愛する親切な人たち。驚いたことは、通貨はウォンとユーロが主流で、円は嫌がられる通貨でした。

私たちは、チュチェ思想塔や革命博物館、大学や中学、保育園や農場、ビール工場視察の他、南との軍事境界線のある板門店を訪れ、246キロもの南との境

界である鉄線やコンクリート障壁をまのあたりにし、緊張感が走りました。夜は、受け入れをしてくれた朝鮮対外文化連絡協議会の方々から、戦後補償を日本が行っていない現実があり、日本では北朝鮮の情報が少ない、真実が明かされていないと思いました。

日本は今、拉致問題があるため、北に物資をストップさせるなどの制裁をしています。制裁では国交は回復しません。

2002年、小泉元首相と金正日総書記で交わした日朝平壤宣言で、双方に存在する諸問題に誠意をもって取り組む決意をしたにも関わらず、未だ実行されていません。この間、私たちのような民間の訪朝団が、国交正常化を求めて、活動や運動を繰り広げているにすぎないのです。



平壤産院の産科医と

